

## 2024年3月21日(木)

併催シンポジウム | コラボレーション企画：メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

2024年3月21日(木) 9:00 ~ 11:40 会場 A1421(14号館 [2階] 1421)

**[A1421-4am] メカノケミカル有機合成を企業で活用するために**

9:00 ~ 11:40

[A1421-4am]

メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

併催シンポジウム | コラボレーション企画：全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム

2024年3月21日(木) 13:00 ~ 15:40 会場 A1421(14号館 [2階] 1421)

**[A1421-4pm] 全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム**

13:00 ~ 15:40

[A1421-4pm]

全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム

併催シンポジウム | コラボレーション企画：メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

2024年3月21日(木) 9:00 ~ 11:40 会場 A1421(14号館 [2階] 1421)

**[A1421-4am] メカノケミカル有機合成を企業で活用するために**

メカノケミカル有機合成は、反応溶媒をほとんど使わずに、ボールミルなどの攪拌装置を用いて有機合成反応を実施する新しい技術である。メカノケミカル有機合成では、幅広い反応に対して反応溶媒が大幅に削減でき（例：1/5分の一）、さらに反応時間も短縮できる（例：300分の一）。また有機合成で扱いにくい溶解性の悪い化合物を反応させることができるなど、有機合成を大幅に進化させるポテンシャルを持っている。このメカノケミカル有機合成は、社会で活用されてこそ、その真価を発揮する。しかし、ヨーロッパを中心に事業化へ大きな興味を持たれているのに対し、日本ではまだ活用が進んでいない。本企画は、メカノケミカル有機合成の社会実装にむけた情報交換や議論を深めることを目的とする。

[プログラム](#)はこちら

9:00 ~ 11:40

[A1421-4am]

メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

併催シンポジウム | コラボレーション企画：全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム

2024年3月21日(木) 13:00 ~ 15:40 会場 A1421(14号館 [2階] 1421)

**[A1421-4pm] 全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム**

全固体電池で実用的な性能を達成するためには、電池材料を稠密化して材料間の界面面積を拡大するとともに、この界面のイオン伝導を良好なものにする必要があります。これらの要請を両立するためには、個々の電池材料を接合するためのサイエンスの構築が不可欠です。文部科学省「材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業 (Materealize)」におけるプロジェクト「全固体電池を実現する接合プロセス技術革新」では、酸化物型全固体電池におけるプロセスサイエンスに関するシンポジウムを行います。3回目の開催となる今回のシンポジウムでは、実用材料として期待されるガーネット型電解質に関する話題を中心に、招待講演とプロジェクト成果の紹介を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

[プログラム](#)はこちら

13:00 ~ 15:40

[A1421-4pm]

全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム